

GAPの取組 (団体認証)

JAおおいたGAP研究会

<問い合わせ先> JAおおいたGAP研究会事務局 TEL: 097-544-0310 (JAおおいた営農部園芸課)

JGAP

柑橘、みつば、いちご、大葉
白ねぎ、七草

<基本情報>

所在地：大分県大分市

構成戸数：78戸

<経営概要>

経営面積：99.7ha (柑橘：7.9ha, みつば：5.6ha, いちご：7.2ha, 大葉：12.4ha, 白ねぎ：58.9ha, 七草：7.7ha)

<取組方針>

①本人が諦めない限り、最後まで付き合う！ ②誰(高齢者)でも取り組むことが出来るよう、工夫を重ねる！



平成29年度未来につながる
持続可能な農業推進コンクール
生産局長賞受賞



<GAPの取得のきっかけ>

■大分県内で発生した残留農薬事故からの立ち直りと販路拡大のため、大分県と連携してJGAP団体認証に向けた準備開始(平成23(2011)年6月)

<GAP認証取得で苦労したこと>

【認証取得にあたって】

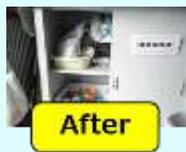
◆取組意思のある高齢者にわかりやすいマニュアルの提示、記帳しやすい様式の必要性等、課題が浮き彫りに。

【認証取得後】

◆3品目が団体認証を取得 → 審査認証費用を抑えられないか。

【生じた課題への対応】

- ◆マニュアルは、**図を多用、文字を大きくする**など高齢者へ配慮。
- ◆生産者が慣れたやり方、様式をできる限り活かす。
- ◆農場・倉庫等の**片づけと整理整頓!**



◆いちご、みつば、柑橘の**3団体を統一し、団体事務局の運営効率化**

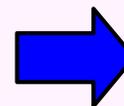
<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆柑橘は、GAP認証を取得し団体として取引先と協議することにより**高単価商品としての販路拡大**(糖度等の品質基準も有り)や西日本全体へ**販売エリアが拡大**。
- ◆出荷規格の交渉もより良い条件で進めることが可能となり、いちごについては規格が簡素化し、生産者の**パック詰め作業効率が2倍以上に効率化**

(平成24(2012)年度：7,840g/時間 ⇒ 平成25(2013)年度：15,000g/時間)



【従来の2段詰めパック】



【1段詰めパック】

- ◆いちご、みつば、柑橘の3団体を統一して団体認証を取得することにより、団体事務局の審査費用は**45万円→15万円**、審査対象農場数の削減により**農場毎に負担する審査費用は約4万円→2万円に削減**
- ◆**青果物であれば、どの品目でも追加・拡大できる体制を確立!**

(29年度に3品目追加取得。30年度はさらに2品目の追加取得に向け、取り組み中)

👉 GAPの取組 (個別認証)

シセイ・アグリ 株式会社

連絡先：0974-34-2114 ホームページ：<http://www.shisei-agri.com/>

GLOBALG.A.P.

白ねぎ

<基本情報>

所在地：大分県豊後大野市

構成員：16名（従業員：12名、パート：4名）

作付品目：白ねぎ15ha、かんしょ2ha、さといも1.5ha

【企業理念】：「志を持ち、誠を尽くす」

【経営理念】：～4つのシセイ（至誠、資生、姿勢、市井）～

GAPの取組状況：社内ルールにGAPを取り入れる事で、社員への浸透を図る



<GAPの取得のきっかけ>

GLOBALG.A.P.の目指す
「持続可能な農業」に共感



2018年3月
GLOBALG.A.P.取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆従業員の意識改革

- ・GLOBALG.A.P.の必要性
- ・衛生面
(食品としての位置づけ)

◆審査書類の整理

- ・作業日報等の記載

◆取得・更新の費用負担



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆商品や会社に対する信頼性の向上

- ・商談がスムーズに進む
- ・取引先拡大 (増加：5社)

◆従業員の意識の変化

- ・業務の専門化や労働環境の改善により、能力を発揮し、やる気を引き出し**生産性がアップ**

◆整理整頓

- ・定期的な清掃、収納場所の取り決め及び機械のメンテナンスにより**作業効率アップ**

◆作業マニュアルの作成

- ・作業毎にマニュアルを作成することにより、**品質の安定**



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

有限会社 育葉産業

<http://www.m-mitsuba.com> 美水みつばの郷

JGAP
みつば

<基本情報>

所在地：大分県豊後大野市
社員数：38名（うちパート32名）

<農場概要>

鉄骨アルミガラス温室 7,300㎡（みつば水耕栽培）

<経営理念>

手を抜かない誠実さをモットーに皆様が食卓で美味しく・安心して召上がっていただける様、優しく、丁寧に**美水（めいすい）みつば**を育てます。

<認証品目>

JGAP
みつば



<GAPの取得のきっかけ>

無農薬や減農薬が真に安全の証なのかを疑問に思い、「**根拠ある安全**」を模索し、**GAPの必要性**を見出した。



2006年 JGAP取得
大分県第1号！

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆2005年にJGAP初版による認証を受けようと志したが、実施例がなく参考にした協会の資料は研究用であり非現実的であったため、実現可能な仕組みづくりの明文化のところで苦労した。この経験から「**最初から完璧を目指す必要は無い**」ことを知った。まず、作業手順を書き出し、その中に含まれる無理、無駄、むら、リスク要因を見つけ、**できることから取組を実施し、改善を重ねることが大切**だと実感した。

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆GAPを実践していくと**自然に整理整頓が出来て、機械や道具・書類の管理が的確になり不要な動作が少なくなった**。また、農場全体の管理整理も進んだ。
- ◆**自らの農業のあり方を見直すチャンス**となり、**お客様の視点に立って商品づくり**をするようになった。

(取組の一例)



トレーサビリティ用の札



唾が飛ばないようにするマスク

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 芦刈農産

JGAP

かんしょ

<基本情報>

所在地：大分県豊後大野市三重町芦刈283番地の2

構成員：30名（社員5名、パート25名）

栽培面積：かんしょ 9.5ha

（紅はるか（商標：はるか姫8.5ha）、シルクスイート（商標出願中：シルク姫1ha））

【経営理念】

集落営農法人として、法規制の遵守を基本とし、地元大地の恵みを受けた農産物の生産を継承するため、農業のイノベーションや将来につながる地域農業活動の経営を行い、信頼される農場管理を目指す。

安心・安全な「かんしょ」を消費者へ届ける。



<GAP認証取得のきっかけ>

- 関東（東京）方面に出荷していたが、オリ・パラを契機に大分県からの勧めもあり販路拡大を期待。
- また、6次産業化により、焼き芋急速冷凍真空パックを商品化したことも含め海外を視野に販路拡大を検討。

⇒ **令和2年2月 JGAP個別認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 従業員に対する整理整頓の徹底などの意識改革。
- 資材等の在庫管理の徹底。
- 機械の点検・清掃の徹底。
- 自己点検の評価項目、帳簿等の書類の種類が多さ。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 従業員の農作業安全に対する意識が改善。
- 農薬散布など記録の見える化（データ）により在庫管理が可能となり無駄が減り、経費を削減。
- 生産物のトレサビリティが確立。
- 従業員任せから責任者が確認する習慣ができ、指示系統が確立。

「今後の意向」

- 青果物、加工品をアジア・マカオへ輸出。
- 国内市場での認知度向上。
- 施設整備により、加工品の製造を10倍まで増加。

【問合せ先】

TEL 0974-22-6016

<https://asikarinousan.com/?mode=f1>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

あんだち
ここのえ安達農園

GLOBALG. A. P.

ブルーベリー

＜基本情報＞

所在地：大分県玖珠郡九重町

栽培面積：1.5ha（ブルーベリー）

構成員：家族4名、パート7名

【経営理念】：ビッグよりストロングを目指す！



＜GAP認証取得のきっかけ＞

農業の世界標準規格の認証に関心があり、イオンアグリ創造(株)の「創農塾」受講をきっかけにGAPが必要と判断。



2016年10月
GLOBALG. A. P.取得

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

- ◆ コンサルタントに頼らず、「創農塾」の受講と自助努力のみで取得したこと。
- ◆ パートにGAPの意義を理解してもらうこと。



＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

- ◆ 家族やパートが、自分の働く農場に対して「我が農園は世界基準だ！」とプライドや意識が芽生え「なぜこうするかを自ら考える」ようになった。
- ◆ 世界基準で認められた農場だからこそ「良い商品を作りたい」という意識が醸成された。
- ◆ 生産するだけでなく商品として「お客様に届ける」との意識が生まれ、ロスが減った。
- ◆ マスコミを始め各方面から注目されることが増え、農園のメディアへの露出度アップ、PRに繋がっている。



＜今後の目標＞

- ◆ 農業と福祉の連携として、収穫作業やジャム加工など障がい者や高齢者が安心して働ける場を目指す。また、将来的にはGAP、有機JASを活かして輸出も視野に入れたい。

問合せ先

T E L 0973-78-8917

E-MAIL mka-an@oct.net.ne.jp

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

久保さんちのお米 (株)

JGAP

米

<基本情報>

所在地：大分県宇佐市下高家1463

構成員：4名（役員1名、従業員3名） 栽培面積：37ha
（うるち米13ha、もち米0.5ha、飼料用米23.5ha）

【経営理念】

○安心・安全ファースト

私達は、「自分の子ども達に食べさせる農産物を皆様に」をモットーに、安全・安心な農産物をお客様に届けます。農園で働く仲間とともに、より質の高い農産物を目指し、私達の農産物で皆様が幸せな気持ちになってもらえるよう日々努力しています。



<GAP認証取得のきっかけ>

- 「安心いちばんおおいた産農産物認証（大分県独自の安全性基準に基づいて栽培された農産物）」の取組から、**更なる取引拡大**を図るため。
- 法人化を契機**に、法令遵守や**持続可能な経営を目指すため**。

JGAP認証取得 ⇒ 令和2年9月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 三代続く農家のため不要品の整理整頓。
- 書類の整理、作成（データ入力を含む）。
- 食品安全・環境保全・労働安全のリスク管理の徹底。
- 各種のルール作りやマニュアル化。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 整理整頓ができたことで、作業効率が上がった。
- 農作業安全の意識が変わった。（講習会なども受講）
- マニュアルに基づく作業の徹底により、リスク軽減に繋がった。
- 日々の作業の中でも、生産工程管理に関する会話が出るようになった。
- 圃場作物の栽培履歴がデータ化されトレーサビリティが明確になった。



「今後の意向」

- 輸出マッチングに参加**。
- 販売先に応じて、GLOBAL G.A.P. 又は、ASIAGAPの認証を取得**。



問合せ先

TEL0978-32-4831

<https://kubosantino-okome.com/>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(株) 安心院オーガニックファーム

JGAP

ベビーリーフ・リーフ
レタス・シャンツアイ

<基本情報>

所在地：大分県宇佐市安心院町
 構成員：役員及び正社員3名、パート8名、海外研修生4名
 栽培面積：14.75ha（内、ハウス3.45ha）
 ※有機JASの認定も受けており、圃場で使用する水も地下水を汲み上げ、ベビーリーフは品持ちが良くシャキシャキ瑞々しいのが特徴。



【経営理念】

大切な人の健康を想い、安全かつ新鮮な野菜を安定供給し、豊かな食文化に貢献する

<GAP認証取得のきっかけ>

OGAPIは、今後の農業において重要なものになると考え、JGAP指導員の勧めもあって、農業生産法人立ち上げ時に、**JGAP認証**も取得する計画を立てた。

JGAP認証取得 ⇒ 2012年4月



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○肥料・資材等の整理整頓により**作業効率が上がった**。
 ○毎朝の朝礼により**従業員の意思疎通が深まった**。
 ○危険な場所の事前確認を行い、**重大事故の未然防止**につながった。



<GAP認証取得で苦労したこと>

○会社設立と同時にGAP認証及び有機JAS認証を取得する計画であったため、少ない人数で、やるべきこと、作成する資料が膨大となった。

<今後の意向>

○当社の栽培スペックをフルに活用して、お客様へ新鮮で安全・安心な野菜を安定的に供給していきたい。



〈問合せ先〉

TEL 0978-58-3606 FAX 0978-44-1671

<https://www.facebook.com/ajimuof>